

科目名	ピアノ音楽史	授業期間	通 年
担当教員	武石みどり	科目No.	CMC2257
受講対象	全専攻 2～4年	単位数	4単位

目 標 ／ 概 要	<p>目標：ピアノ音楽史の概観を得るとともに、レポートの作成方法を体系的に学ぶことにより、さまざまな方向からピアノ作品にアプローチし、それを文章に表現し報告する力を身につける。</p> <p>概要：バロックから近現代に至るまでのピアノ作品を歴史的に概観する。特にピアノという楽器の成立と発展、ソナタとソナタ形式の確立との関連に注目し、作曲の目的や奏法の変化、諸芸術との関連を考察する手がかりを与える。</p>
-----------------	--

授 業 計 画	春 学 期					
	1	授業の進め方の説明 ピアノの前身楽器（ダルシマー）				
	2	ピアノの前身楽器（チェンバロ、ヴァージナル）				
	3	ピアノの前身楽器（クラヴィコード） フォルテピアノ				
	4	ウィーン式ピアノと古典派音楽				
	5	ハイドンが用いた鍵盤楽器と後期のソナタ				
	6	モーツァルトのソナタ 自筆楽譜と原典版				
	7	モーツァルトのピアノ・コンチェルト				
	8	レポートの書き方（課題の設定とリサーチ）				
	9	ベートーヴェンが用いたピアノ 初期のソナタ				
	10	ベートーヴェン 中期のソナタ				
	11	ベートーヴェン 後期のソナタ				
	12	チェンバロ、クラヴィコード、フォルテピアノに触れる				
	13	ベートーヴェンのピアノ・コンチェルト				
	14	ロマン派概説 キャラクターピース				
	15	レポートの書き方（文章の組立て・論理構成）				
	秋 学 期					
	1	シューベルトのソナタ				
	2	シューベルトの幻想曲				
	3	シューマンのキャラクターピースと背景				
	4	シューマンのソナタ、幻想曲				
	5	ショパン概説 プレリユード、バラード				
	6	ショパンのソナタ				
	7	リスト キャラクターピース レポートの書き方（先行研究との関係）				
	8	リスト ロ短調ソナタ 提示部から展開部前半まで				
	9	リスト ロ短調ソナタ 展開部後半から最後まで				
	10	印象主義 ドビュッシー				
	11	無調への動き 表現主義から十二音音楽へ シェーンベルク				
	12	20世紀初頭のさまざまな動向 レポートの書き方（楽曲分析を含むレポート）				
	13	レポートの書き方（参考文献、脚注、書式）				
14	ロシアの近代作品					
15	第二次大戦後 最終レポート提出					

準備学習の内容	授業中に提示された課題についての情報収集、楽曲分析、文書作成。					
履修上の注意	出席を重視する。ピアノ音楽に関する知識を単に受動的に学ぶだけではなく、自ら言葉で語ったり文章にしたりする能力を育むために、授業中に文章を書いたり意見を述べたりする機会を設ける。年間に3つ以上のレポートを課す。					
評価方法	試 験	課題(レポート含)	発 表	平常点	その他	合 計
		○		○		
	補 足					
教材等	授業中にプリントを配付する。					